



2016年7月7日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6693-9571)

当社グループ会社(株)ジェネティックラボにおける
「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択について

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市)は、中小企業庁が行っている平成27年度補正予算「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」(以下、当該事業)に課題「低侵襲による新しいがん個別化検査サービスの実現化」として応募し、本日採択されましたので、お知らせいたします。

記

1. 「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の目的

当該事業は、中小企業庁が平成27年度補正予算において、国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等の経費の一部を補助する事業です。

2. 採択された事業

(1) 事業テーマ名

「低侵襲による新しいがん個別化検査サービスの実現化」

(2) 事業の概要

血中に循環して存在する、がん細胞由来の遺伝子変異解析や、がんの新規バイオマーカー^{*1}として注目されるエクソソーム^{*2}の解析など、低侵襲^{*3}的な採血のみでがんの個別化診断や治療方針支援が可能な検査サービスを行う。

(3) 採択企業

株式会社ジェネティックラボ

(4) 補助事業期間

交付決定後、2016年12月末日まで

(5) 補助金額

交付申請予定額: 718万円

3. 交付金額と交付時期について

補助金額は、補助事業の実績を報告し、審査を経て確定します。そのため、現時点で確定した交付金額及び支払時期は未定であります。

4. 今後の見通し

2017年3月期業績予想において、本件による収入を見込んでおりませんでした。本事業の採択による補助金収入が見込まれます。当期業績予想に与える影響は精査中であり、修正が必要な場合には、改めてお知らせいたします。

【株式会社ジェネティックラボについて】

2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

◆ご参考

※1 バイオマーカー

血液や尿などの体液や組織に含まれる、タンパク質や遺伝子などの生体内の物質で、病気の変化や治療に対する反応に相関し、指標となるものです。

※2 エクソソーム

細胞が分泌する小胞(細胞外小胞と呼ばれる膜に包まれた袋状の構造)で、その大きさは直径数十ナノ(10の-6乗)メートルと非常に微小なカプセル状をしたものです。離れた細胞や組織に情報を伝達するための役割を担っています。

※3 侵襲

外科手術などによって人体を切開したり、人体の一部を切除する行為や薬剤の投与によって生体内になんらかの変化をもたらす行為のことです。

以上